

群馬県多文化共生・共創推進計画 令和5年度（第2年度）の取組状況及び評価検証について

「群馬県多文化共生・共創推進計画」は、「群馬県多文化共生・共創推進条例」に基づき、多文化共生・共創社会の実現を目指す施策を、総合的かつ計画的に推進するために策定したものです（計画期間：令和4年度～8年度）。

また、「群馬県多文化共生推進指針」、多文化共生・共創「群馬モデル」の後継計画として、市町村、事業者及び関係団体と連携し、取組を推進するものです。

本計画を実効性のあるものとしていくため、毎年度、関係事業を一体的にまとめた「事業実行計画」を作成して施策を展開するとともに、目標数値を設定し、点検・評価を実施します。

計画期間の2年目である令和5年度における各評価対象目標値の達成状況及び実行計画における各基本方針の主な取組状況は、以下のとおりです。

1 評価対象目標値の達成状況

目標値を設定した11項目のうち、3項目で達成、6項目で前進がありました。特に、外国人材受入事業者を対象とした施策において顕著な成果が見られました。一方、横ばいである2項目については、当該施策について引き続き周知等に努めていきます。

こうした状況に対応し、計画終期の目標達成に向け、取組の見直しや強化を図りながら、関係部局や関係機関等との連携の下、必要な施策を効果的に展開していきます。

評価対象目標値の達成状況（R5年度）

14項目うち、評価達成目標数値を設定している11項目のみ

基本方針	評価 目標数	達成A		前進B		横ばいC		後退D	
I【共生】安心して暮らし続けられる環境の整備	6	2	33.3%	3	50.0%	1	16.7%	0	0.0%
II【共創】新たな価値を創造する環境の整備	3	1	33.3%	2	66.7%	0	0.0%	0	0.0%
III 誰一人取り残さない「多文化共生・共創社会」の実現	2	0	0.0%	1	50.0%	1	50.0%	0	0.0%
計	11	3	27.3%	6	54.5%	2	18.2%	0	0.0%

達成A:実績値が計画の目標値を上回り、達成した状態

前進B:実績値が計画策定時の数値から前進しているが、目標値には達していない状態

横ばいC:実績値が策定時から目立った変動が見られない状態

後退D:実績値が策定時の数値より後退している場合

個々の目標数値の達成状況は（別表）のとおりです。

2 事業実行計画の実施状況

計画を実効性のあるものとしていくため、毎年度関係事業を一体的にまとめた「事業実行計画」を作成して施策を展開しています。令和5年度は延べ66事業（重複あり）を展開しました。基本方針ごとの実施概要は以下のとおりです。

基本方針Ⅰ【共生】安心して暮らし続けられる環境の整備

文化や言語、諸制度が異なる国にルーツを持つ外国人県民が、自ら生活に必要な情報を手に入れ、安心、安全に暮らせるよう、SNSを活用した情報発信、個別具体的な相談に対応できる体制づくり、災害時における支援体制の整備を図りました。

また、日本人・外国人県民が共に暮らしていくためには円滑なコミュニケーションが必要であることから、日本語学習の支援、学習機会の提供に取り組みました。

重点事業として、あいまいな表現を避け、難しい言葉を言い換えるなど、相手に配慮

したわかりやすい日本語である「やさしい日本語」を普及するため、一般県民向け・大学医学部生向け講座を実施しました。

基本目標 1 行政・生活情報の提供体制整備、相談体制の充実

- (1) ICT 等を活用した「伝わりやすい」情報提供 (6 事業)
- (2) 相談体制の整備 (5 事業)

基本目標 2 日本語教育の推進、教育機会の確保

- (1) 日本語学習環境の充実 (7 事業)
- (2) 外国人児童生徒等への学習支援 (4 事業)

基本目標 3 安心・安全かつ持続可能な暮らしの確保

- (1) 安心・安全な暮らしの確保 (8 事業)
- (2) 災害時の支援体制の整備 (4 事業)

基本方針Ⅱ 【共創】新たな価値を創造する環境の整備

外国人県民は、本県経済に欠かせない存在であり、共に新たな価値を創造し、活力を創る仲間です。外国人県民が活躍できるよう外国人材受入事業者に対する支援を行うとともに、外国人材に「働く場」として本県を選んでもらえるための情報発信、マッチングや起業・文化活動の支援に取り組みました。

重点事業として、外国人材を雇用し、共に活力を創り出すために優れた取組を行う事業者を「多文化共創カンパニー」として認証し、その取組を多言語で発信しました。

基本目標 4 外国人材に魅力的な「働く場」づくりの支援

- (1) 事業者向け情報発信の充実 (2 事業)
- (2) 外国人材受入事業者への支援 (5 事業)

基本目標 5 外国人材に選ばれる機会の創出

- (1) 海外・外国人材向け情報発信の充実 (3 事業)
- (2) マッチング支援 (3 事業)
- (3) 留学生の就職支援 (4 事業)

基本目標 6 多様な多文化共創の推進

- (1) 外国人県民による企業・文化活動の支援 (3 事業)

基本方針Ⅲ 誰一人取り残さない「多文化共生・共創社会」の実現

多文化共生・共創社会を実現し、全ての県民が幸福を実感できるようになるために、様々な場面で意識づくり、外国人県民の社会参画の推進に取り組みました。

重点事業として、「ぐんま多文化共生・共創推進月間」である 10 月には、多文化共生イベント「からっかぜパーク」の開催、啓発動画等の発信等を集中して実施しました。

基本目標 7 県民一人ひとりが主体的に取り組む機運の醸成

- (1) 多文化共生・共創の教育・啓発の推進 (9 事業)
- (2) 外国人県民の地域社会への参画促進 (1 事業)

基本目標 8 県政への多様な意見の反映

- (1) 外国人県民とのネットワーク構築 (1 事業)
- (2) キーパーソン・支援団体等との協働 (1 事業)